

Sony Music Foundation presents
THE 14th INTERNATIONAL
OBOE
COMPETITION OF JAPAN 2027
in Tokyo
第14回 国際オーボエコンクール・東京

＜＜ 参 加 規 定 ＞＞

主 催：公益財団法人ソニー音楽財団 (Sony Music Foundation)

I. コンクール概要

「国際オーボエコンクール」は、1985 年より公益財団法人ソニー音楽財団が開催している国際音楽コンクールです。オーケストラのクオリティを決定づける楽器としてのオーボエの重要性を唱えた初代財団理事長・大賀典雄（ソニー株式会社元会長）の発案により発足しました。

当コンクールは、オーボエの真価を広く伝えるとともに、優れた若手演奏家を発掘・育成し、その活躍の場を国内外に広げることで、国際的な音楽文化の発展に寄与することを目的としています。

今日では、世界各国から優秀なオーボエ奏者が集う国際音楽コンクールとして高い評価を得るとともに、世界で活躍する数多くの演奏家を輩出しています。オーボエに特化した国際音楽コンクールとしては世界で唯一といえる存在であり、国際的にも確固たる評価を得ています。

1. 名称

第 14 回 国際オーボエコンクール・東京

THE 14th INTERNATIONAL OBOE COMPETITION OF JAPAN 2027 in Tokyo

2. 「第 14 回 国際オーボエコンクール・東京」委員会

会 長 石川 恵子（ソニー音楽財団理事長）

【運営委員会】

運営委員 青木 聡【委員長】（ソニー音楽財団 専務理事）
金川 文彦【副委員長】（ソニー音楽財団 顧問）
荒木 奏美
古部 賢一
辻 功

【審査委員会】

審査委員長 ハンスイェルク・シェレンベルガー 元ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 首席オーボエ奏者指揮者／オーボエ奏者

審査委員	荒木 奏美	読売日本交響楽団 首席オーボエ奏者
(アルファベット順)	古部 賢一	新日本フィルハーモニー交響楽団 特任首席オーボエ奏者 東京音楽大学 教授
	ゴードン・ハント	指揮者／元ロンドン室内管弦楽団 首席オーボエ奏者 元フィルハーモニア管弦楽団 首席オーボエ奏者
	ラモン・オルテガ・ケロ	バイエルン放送交響楽団 首席オーボエ奏者
	ドワイト・ペリー	シンシナティ交響楽団 首席オーボエ奏者
	辻 功	昭和音楽大学 客員教授／洗足学園音楽大学 客員教授 国立音楽大学 特任教授／日本大学芸術学部 講師

3. 事務局

「第 14 回 国際オーボエコンクール・東京」事務局

公益財団法人ソニー音楽財団 (Sony Music Foundation) 内

〒102-8353 東京都千代田区六番町 4-5 SME 六番町ビル

T E L: 03-3515-5261 (日本時間: 平日 10-18 時)

e-mail: smf@sonymusic.co.jp

U R L: <https://oboec.jp/>

* 日本国外からの問い合わせは、E メールに限る。

4. 日程

参加申込受付期間 ※提出物(動画を含む)の受付期間	2027 年 3 月 15 日(月)ー4 月 14 日(水)23:59(CET*)事務局必着 *CET 中央ヨーロッパ時間 ※以後同様 注:4 月 15 日(木)7:59(日本時間)事務局必着
審査委員による予備審査	2027 年 5 月ー6 月(動画による審査・非公開) ◇予備審査通過者発表:7 月上旬頃を予定
(以下、日本・東京にて) 出場登録	2027 年 10 月 9 日(土)
第1次予選	2027 年 10 月 11 日(月・祝)・12 日(火) ◇第 1 次予選通過者発表:10 月 12 日(火)
第2次予選	2027 年 10 月 14 日(木)・15 日(金) ◇第 2 次予選通過者発表:10 月 15 日(金)
本選・表彰式	2027 年 10 月 18 日(月)

5. 会場

練馬文化センター
〒176-0001 練馬区練馬 1 丁目 17 番 37 号
<https://www.neribun.or.jp/nerima.html>

- ◆第 1 次予選・第 2 次予選: 小ホール
- ◆本選及び表彰式: 大ホール

6. 賞

- | | |
|---------|----------------------|
| ◆ 第 1 位 | 表彰状・表彰金 130 万円・トロフィー |
| 大賀賞(副賞) | 日本での演奏会出演の機会が与えられる。 |
| ◆ 第 2 位 | 表彰状・表彰金 70 万円 |
| ◆ 第 3 位 | 表彰状・表彰金 30 万円 |
| ◆ 入賞 | 表彰状・表彰金 10 万円 |
| ◆ 聴衆賞 | 表彰状 |

- ◇ 第 1 位から第 3 位のうち同位入賞者が複数の場合は、別途委員会にて表彰金額を決定する。
また、該当者がいない場合は、各位は空位となる。
- ◇ 大賀賞による演奏会は、受賞者との条件について合意に至らない場合は実施しない。
- ◇ この他、特別賞などの賞を定めることがある。
- ◇ 上記表彰金は、日本の税法に基づく税金を含む額とする。

Ⅱ. 参加申込

1. 参加資格

1997 年 1 月 1 日から 2009 年 12 月 31 日までに出生した者。
ただし、過去に当コンクールにおいて第 1 位を受賞した者を除く。

2. 参加申込受付期間

2027 年 3 月 15 日(月)－4 月 14 日(水)【事務局必着】

3. 参加申込先

オンライン申込サービス“Muvac”(<https://www.muvac.com/>)での受付とする。
※事前にアカウント登録が必要。
※その他の方法での申込は不可。

4. 参加申込方法

参加希望者は、申込受付期間内に Muvac(<https://www.muvac.com/>)にアクセスし、以下の(a)～(e)すべてを提出または支払うこと。

※データは申込受付期間内であれば随時修正・追加可能。
※申込内容に不正および不備が発覚した場合は即時失格となる。
※申込を完了した時点で、当参加規定の内容すべてを了承するものとする。

※過去に、当コンクールにおいて第 2 次予選に出場した者は、予備審査用動画の提出のみ免除される。
対象者は、参加申込前に E メールにて事務局 (smf@sonymusic.co.jp) にその旨および過去第何回に出場したかを必ず申し出ること。

	注意事項等	Muvac 内ページ
(a) 基本情報	参加希望者の基本情報 － 氏名、性別、生年月日 － 国籍、住所、電話番号 等	アカウント登録 個人データ
(b) 年齢証明	年齢を証明する公式文書 1 点(パスポート等。) ※PDF、JPEG等	証明書
(c) 顔写真	－ 正面・上半身 － 申込日から半年以内に撮影したもの － カラーで、著作権による制限のないもの (チラシや雑誌からの切り抜きは不可) － 容量 200KB 以上の JPEG 形式 ※公式パンフレット、ウェブサイト、広報等に使用する ※暗すぎる、明るすぎる等肖像が不明瞭なものは不可	ポートフォリオと その他の書類

(d) 予備審査用動画	予備審査課題曲を収録した動画 - 収録は、2026 年 10 月以降に行われたもので、<u>未編集の録画</u>に限る。ここでいう未編集とは、音の調整や曲中の編集が行われていないことを指す。 - 審査は匿名で行われるため、自身の名前や学校のロゴなど、個人が特定できる情報が動画内に含まれないよう注意すること。 - カメラアングルは横長および固定とし、正面からオーボエ奏者の手元と顔が明瞭に映るように撮影すること。なお、伴奏者については顔が映るように撮影すること。 - 音源のみの提出は不可。 - 録画の音質・画質は可能な限り高品質のものを推奨する。 - 動画の提出方法は、Muvac の応募フォーム上への直接アップロードに限る。YouTube 等の動画共有サービスの URL による提出は不可。	ビデオ
(e) 参加料	Muvac の決済システム経由で 15,000 円を支払う。	応募時の支払い

5. 予備審査(非公開)

コンクール第1次予選出場者を決定するため、Ⅱ-4に記載の動画による予備審査を行う。

予備審査は、事務局が参加資格を確認した後、審査委員により行う。

参加申込者の動画を除く一切の情報は、審査委員には開示されないブラインド審査で行われる。

予備審査の結果は 2027 年 7 月上旬を目途に、すべての参加申込者に Muvac から通知する。7 月 20 日(火)までに連絡がなかった場合は、E メールにて事務局 (smf@sonymusic.co.jp) へ問い合わせること。それ以前の問い合わせには応じない。

Ⅲ. コンクールへの出場について

1. 参加料・出場料

当コンクールへ参加申し込みをする者は、参加料として 15,000 円を Muvac の決済システム経由で支払う。
予備審査通過者は、当コンクールへの出場料として 21,000 円を Muvac 内の決済システム経由で支払う。
一旦支払った参加料・出場料は、いかなる事由があっても返金しない。

2. 第1次予選・第2次予選・本選

第1次予選・第2次予選・本選は、東京都練馬区(日本)にて開催し、審査委員全員で審査を行う。

第1次予選出場者は、2027 年 10 月 9 日(土)に、事務局が東京都内に指定する登録会場で出場登録を行わなければならない。出場者は、出場登録日に行われるオリエンテーションに必ず参加すること。

第1次予選についての詳細は、予備審査結果発表時に、予備審査通過者にのみ通知する。なお、第2次予選課題曲の選択および演奏順の申請、宿泊希望の有無、伴奏者を含む同伴者の有無等は、予備審査通過後に申告すること。

本選についての詳細は、第2次予選結果発表時に、第2次予選通過者にのみ通知する。

3. 日本国外からの出場者への渡航費補助

日本国外に居住する者に対しては、渡航費として下記金額を支給する。旅費補助額は、出場者の国籍に基づいて算定する(留学先からの請求は認めないものとする)。

ただし、出発地へ戻らない場合(往復しない場合)、または当コンクールの出場以外の目的を含む場合は支給しない。

支給される金額については、日本の税法に基づく源泉徴収後の額を支給する。(税率は原則として 20.42%)

国籍	支給額(税込)	控除後の支給額(手取り)
アメリカ／ヨーロッパ／アフリカからの 出場者	125,660 円	100,000 円
アジア／オセアニア地域からの 出場者	62,830 円	50,000 円

4. 出場者への宿泊場所の提供

事務局は、希望する出場者に対し、出場登録日から下記の各期日まで、事務局指定の宿泊ホテル(シングル 1 名 1 部屋・朝食付)を提供する。

下記期間以外の滞在費はすべて出場者が負担すること。

- ◆ 第1次予選出場者 10/9～第1次予選終了日の翌朝(10/13)まで
- ◆ 第2次予選出場者 10/9～第2次予選終了日の翌朝(10/16)まで
- ◆ 本選出場者 10/9～本選終了日の翌朝(10/19)まで

5. 共演

- 出場者は、伴奏者としてピアノおよびチェンバロ奏者を同伴することができる。ただし、伴奏者に掛かる渡航費、宿泊費他すべての経費は出場者が負担すること。
- 伴奏者を同伴しない場合、事務局は公式伴奏者としてピアノ、チェンバロ奏者を用意する。
- 本選における共演オーケストラ、指揮者は、事務局が用意する。
- ピアノおよびチェンバロ奏者、オーケストラ、指揮者との公式練習時間、場所などは、事務局が指定する。
- 公式伴奏者は、第1次予選、第2次予選それぞれに事務局が割り当てるため、第1次予選と第2次予選では伴奏者が変更となる場合がある。

6. その他

[A] 参加者／出場者

当コンクールへの参加申し込みをした者、また予備審査通過後いずれかの予選を通過できなかった者をその時点で「参加者(participant)」と呼ぶ。

予備審査を通過し、出場料を支払った者を、「出場者(contestant)」と呼ぶ。

[B] 査証取得

当コンクール出場のために入国査証が必要な場合は、出場者本人の責任で入国査証を取得すること。同伴する伴奏者についても同様とする。尚、入国査証取得のために必要な書類は、事務局に申請すること。

[C] 保険

当コンクール期間中の出場者及び同伴する伴奏者自身の健康に関する保険、また、楽器等所持物の事故、火災、盗難、破損等に関する保険は、出場者及び同伴する伴奏者自身が加入すること。

[D] 著作権

本コンクール期間中に行われるすべての演奏、式典についての写真、録音、録画、放送、配信等に関する著作隣接権を含む諸権利は、すべて事務局に帰属するものとする。

[E] 演奏等の公開

当コンクールは、予備審査を除き一般に公開される。

第1次予選、第2次予選及び本選での演奏、表彰式の模様は、ライブ中継、録画、録音等によるテレビ、ラジオ等での放送、インターネットによるライブおよびアーカイブ配信(YouTube)、公式ウェブサイトおよび公式SNSでの公開等を行う場合があり、出場者及び同伴する伴奏者はこれを了承するものとする。なお、これら放送、配信、公開にかかる報酬は発生しない。

[F] 個人情報

出場者の情報(国籍、地域、氏名、生年月日、演奏曲、学歴、音楽歴)は公開される。事務局は、提供された個人情報を漏洩や紛失、不正アクセス等から保護するために必要な対策を講じて保管する。

[G] 日本の法律への準拠

当参加規定に関して発生する問題については、日本語の参加規定に基づき、かつ日本の法律に準拠して解決される。

[H] 審査方法

演奏の審査については審査規程に基づき、審査委員会が厳正にこれを行う。審査委員会による決定事項は最終的なものであり、絶対的なものである。

[I] 審査委員への接触

審査委員と出場者は、出場者登録日より本選終了までの間、いかなる場合も接触してはならない。

審査委員は出場者のうち過去2年以内に3か月以上自己に師事したことのある者については審査委員会にその氏名を申告しなければならない。

IV. 課題曲

事務局は、予備審査、第1次予選、第2次予選、本選の課題曲をそれぞれ設定する。
コンクール期間を通じて、伴奏楽器（ピアノ、チェンバロ、オーケストラ）のピッチは A=442Hz、第2次予選のチェンバロは平均律で調律するものとする。

1. 予備審査（動画審査）

下記課題曲 2 曲を演奏し、動画を提出すること。

- 1) C. サン＝サーンス：オーボエ・ソナタ ニ長調 op.166 第 2・第 3 楽章
- 2) G. Ph. テレマン：ヴィオラ・ダ・ガンバのための《12 の幻想曲》より 幻想曲第 7 番 TWV 40:32
（H. シェレンベルガー編曲・オーボエ版）
[全楽章とも最初の繰り返しのみ]
【出版社：BEFOCO】

2. 第1次予選（日本での公開審査）

下記課題曲 2 曲を演奏すること。（曲順任意）

- 1) R. シューマン：アダージョとアレグロ op.70
【出版社：Peters】
- 2) H. ホリガー：無伴奏オーボエ・ソナタ（1956 rev. 1999）第 1・第 4 楽章
【出版社：Schott】

3. 第2次予選（日本での公開審査）

<A><C>のグループからそれぞれ 1 曲、計 3 曲を選択し、50 分のリサイタルを構成するように演奏すること（入退場と曲間を含めて 50 分以内に収めること）。なお無伴奏曲の選択は、最大 1 曲とする。（曲順任意）

<A>

- 1) J. S. バッハ：ソナタト短調 BWV1030b
[3 楽章のみ繰り返しなし]
【出版社：Peters】
- 2) J. S. バッハ：無伴奏フルート（オーボエ）のためのパルティータ イ短調 BWV1013
（イ短調またはト短調で演奏すること）
[全楽章とも最初の繰り返しのみ]
【出版社：Peters／Karthause-Schmülling】
- 3) C. Ph. E. バッハ：無伴奏フルート・ソナタ イ短調 Wq. 132
[繰り返しなし]
【出版社：AMADEUS】
- 4) F. クーブラン：《趣味の融合 または 新しいコンセール集》より
コンセール第 7 番、または第 11 番、または第 14 番
【出版社：Breitkopf & Härtel】

- 1) A. ドラティ: オーボエのための5つの小品
【出版社: Boosey & Hawkes】
- 2) A. パスクッリ: ドニゼッティ「ポリウート」の主題による幻想曲
【出版社: Musica Rara (Breitkopf & Härtel)】
- 3) G. シルヴェストリーニ: 6つの練習曲より 任意の3曲
【出版社: Delatour】
- 4) 細川俊夫: 《スペル・ソング―呪文のうた―》オーボエのための
「第11回 国際オーボエコンクール・軽井沢」のための公益財団法人ソニー音楽財団委嘱作品
【出版社: Schott】
- 5) G. パッジ: ベッリーニの思い出(演奏会用大幻想曲) op.16
【出版社: BEFOCO】
- 6) M. ドラニシニコワ: オーボエとピアノのための詩曲
【出版社: TrevCo Music Publishing】

<C>

W. A. モーツァルト: オーボエ協奏曲 ハ長調 K.314 (285d)
[暗譜での演奏が望ましいが、楽譜の使用も認める。ピアノ伴奏]
【出版社: Breitkopf & Härtel (Henrik Wiese 校訂) / Henle (Ingo Goritzki 校訂) /
最新の Bärenreiter (Frank de Bruine 校訂)*】
*この版を使う場合には、“オツシア・ヴァージョン”を演奏すること

4. 本選 (日本での公開審査)

以下の2曲を演奏すること。

- 1) A. ドラティ / 協奏的二重奏曲
【出版社: Boosey & Hawkes】
- 2) R. シュトラウス: オーボエ協奏曲 二長調 AV144
[暗譜での演奏が望ましいが、楽譜の使用も認める。オーケストラ伴奏]
【出版社: Henle】

以上